

施工パッケージ型工事積算等について

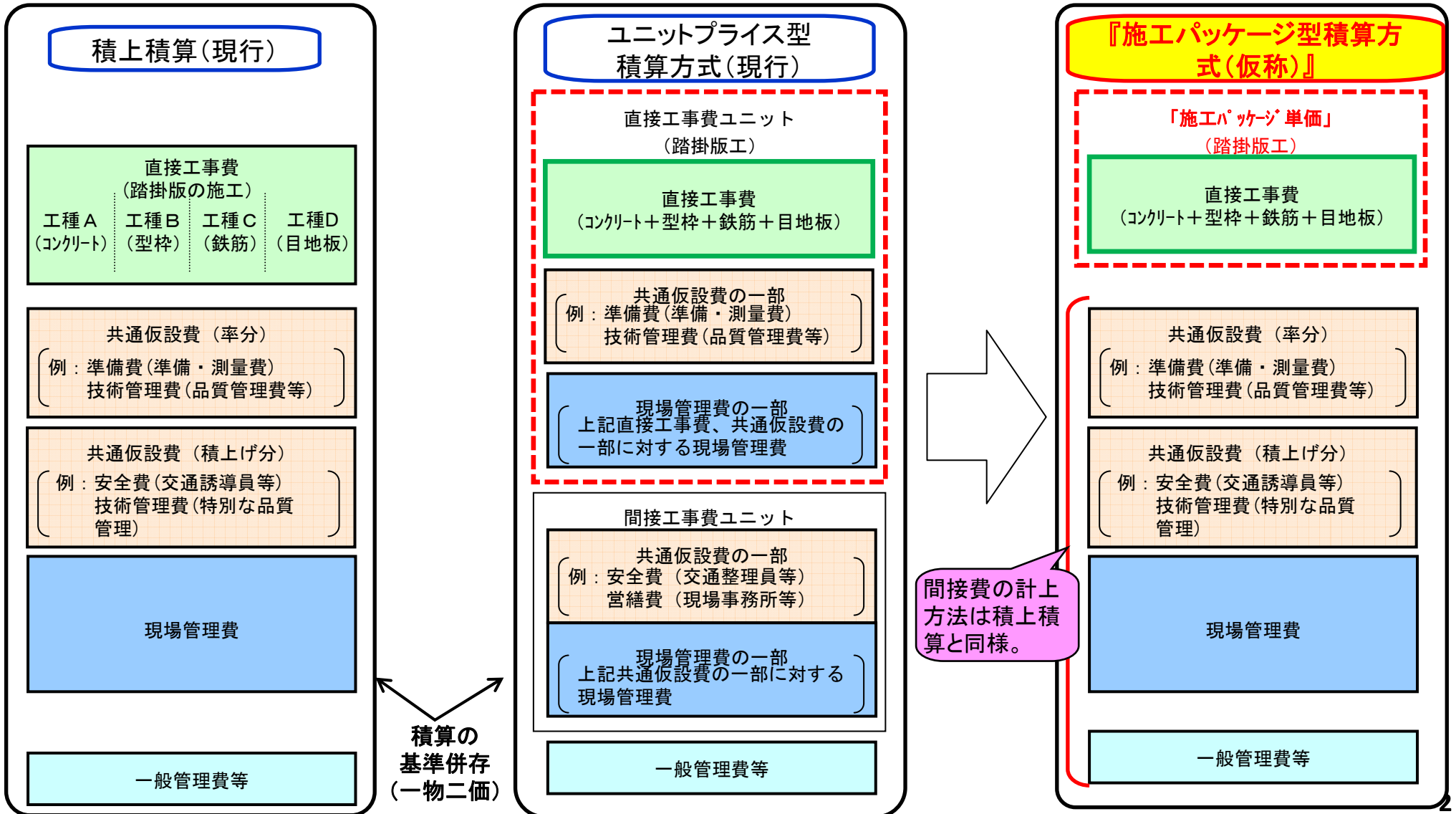
平成24年4月13日

【導入目的】

- 工事の予定価格の算出方法として、従来より、歩掛、機械損料、労務単価を積み上げる積算方式(積上積算)を行ってきたが、積上積算方式は受発注者に多くの負担がかかっていました。
- こうした背景から、平成16年度よりユニットプライス型積算方式の試行を進めてきたが、建設工事における近年の過当な価格競争などを背景に、本方式への課題が指摘されてきたところであります。
- 今般、試行の結果を踏まえ、積算効率化の一層の促進と試行の結果から得られた課題を改良した新たな積算方式として、「施工パッケージ型(非積上型)積算方式」を平成24年10月1日以降に入札する土木工事から施工導入します。

『施工パッケージ型積算方式』の概要と特徴

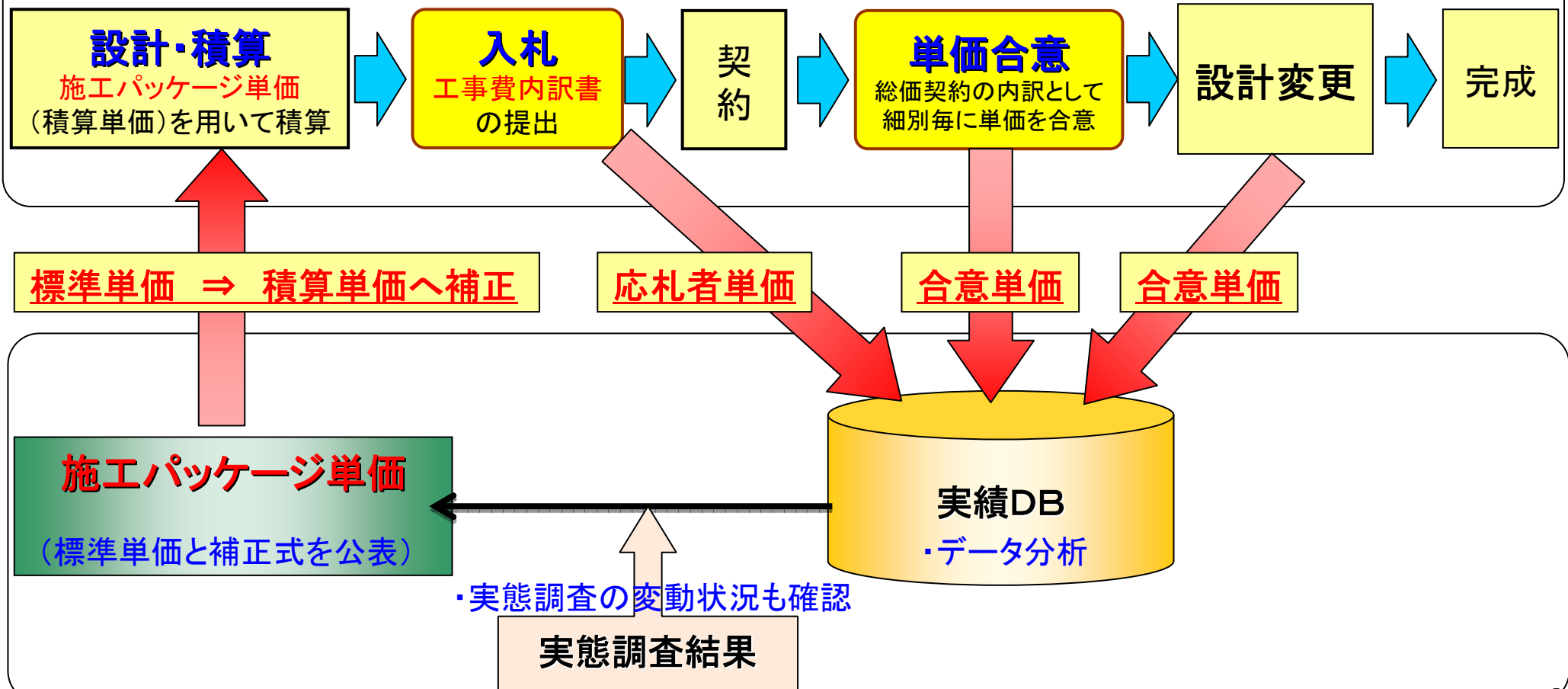
『施工パッケージ型積算方式(仮称)』とは、直接工事費について、施工単位ごとに機械、労務、材料費を含んだ施工パッケージ単価を設定し、積算する方式です。



『施工パッケージ型積算方式』の概要と特徴

「施工パッケージ単価」は、受発注者で合意した単価（合意単価）、並びに応札者単価を活用し、収集したこれら単価を分析し、実態調査による実際の施工単価の変動状況も踏まえた上で、新たな「施工パッケージ単価」を設定します。

契約の流れ



『施工パッケージ型積算方式』の透明性の確保

価格の透明性を確保するため、「施工パッケージ単価」は、標準単価と補正式を公表します。
「標準単価」から積算を実際に行う地区の「積算単価」には、地域補正及び物価変動による補正を行います。

《補正式》

H24.10 鹿児島 積算単価

$$= \boxed{\text{H23.9東京標準単価}} \times \left(\boxed{K} \times \frac{\text{H24.10鹿児島機械単価}}{\text{H23.9東京機械単価}} + \boxed{R} \times \frac{\text{H24.10鹿児島労務単価}}{\text{H23.9東京労務単価}} + \boxed{Z} \times \frac{\text{H24.10鹿児島材料単価}}{\text{H23.9東京材料単価}} \right)$$

K: 標準単価に占める機械費の構成割合

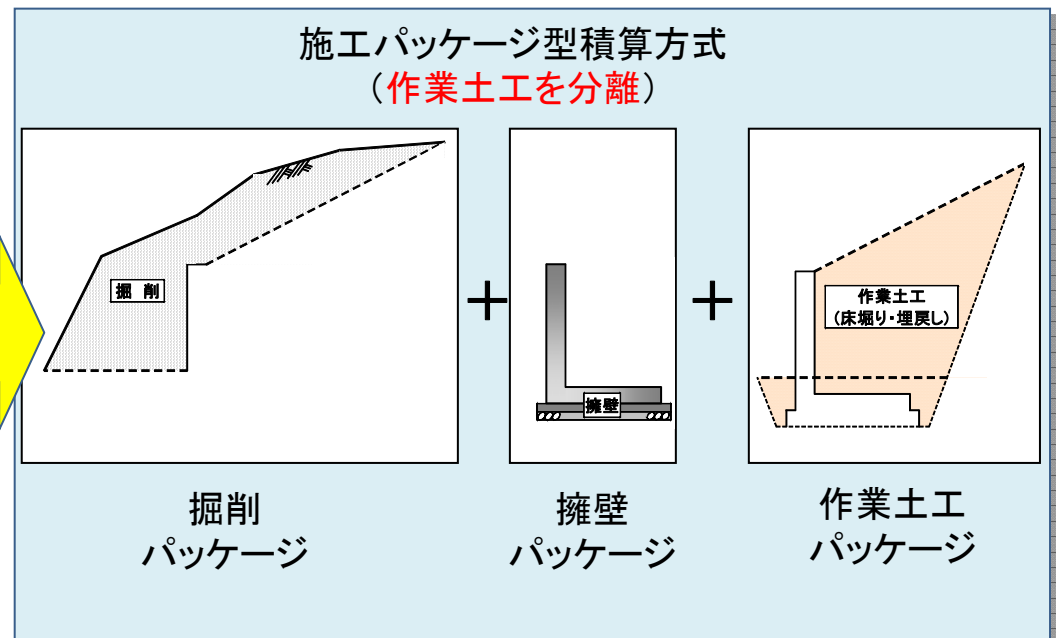
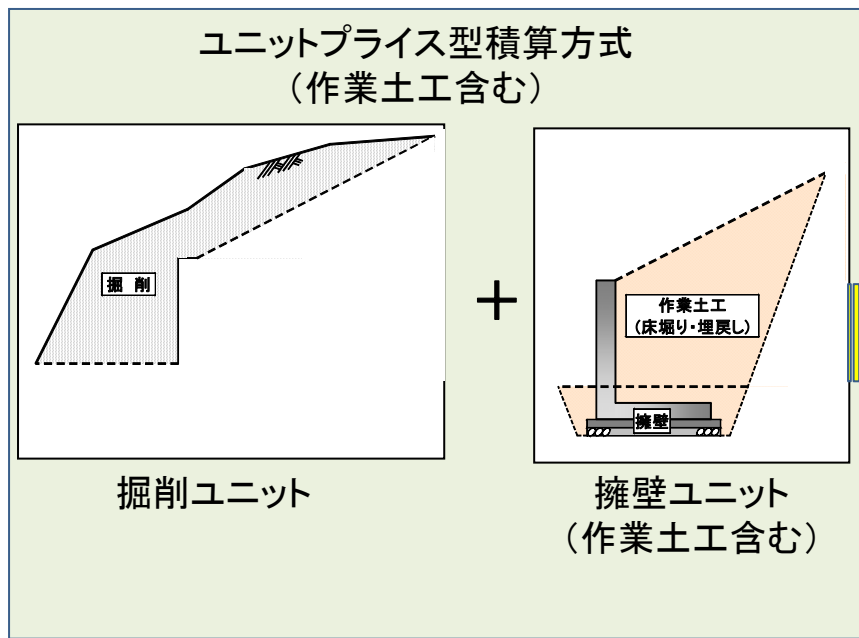
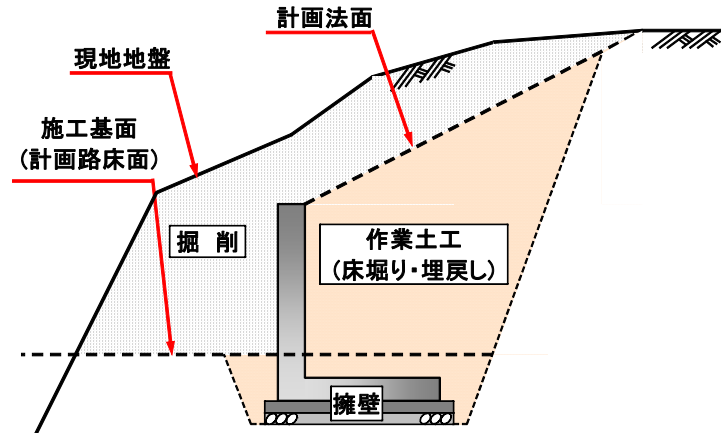
R: 標準単価に占める労務費の構成割合

Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

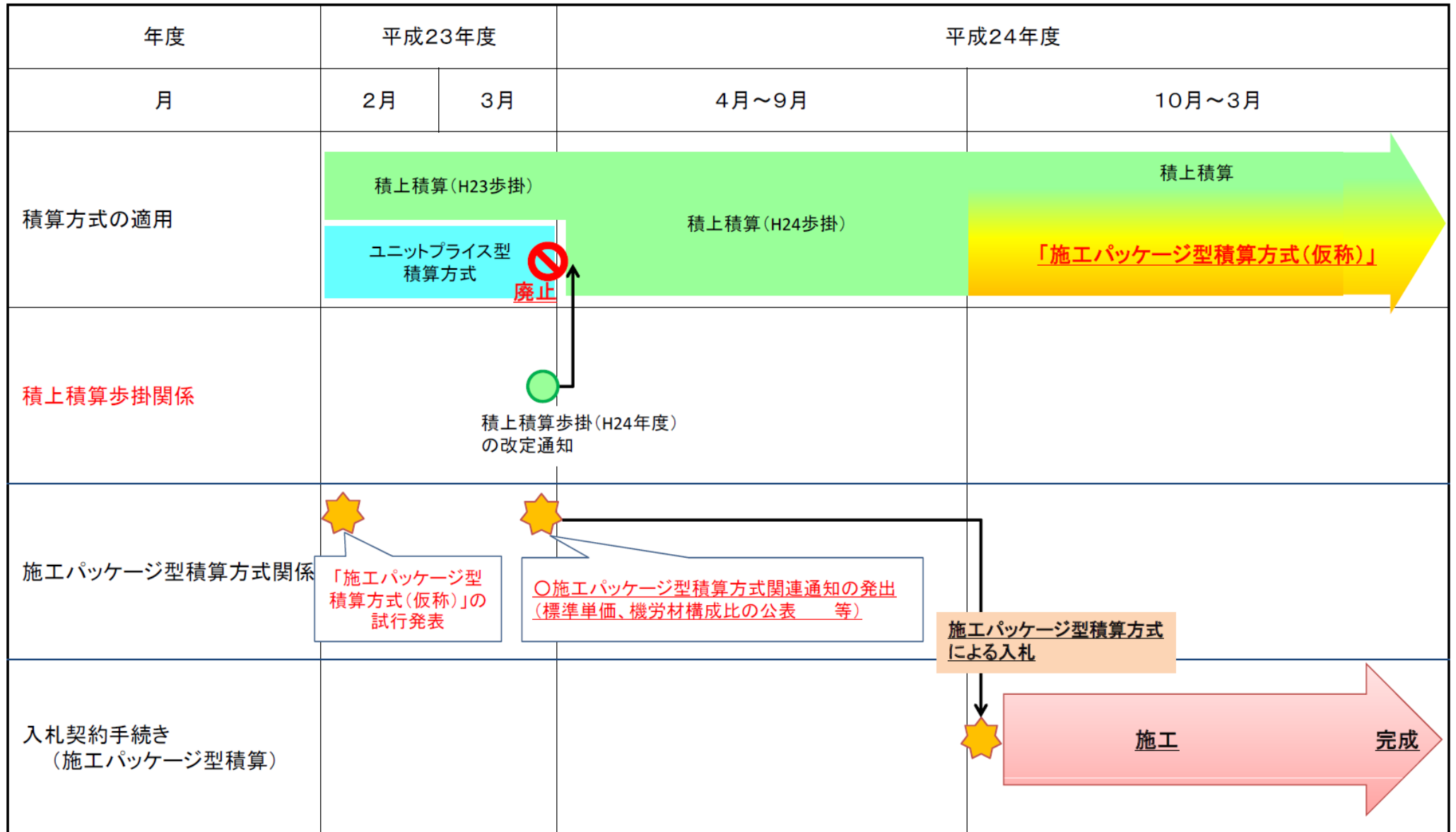
を公表

弾力的な契約変更の取組

作業土工の施工量の変動に対して弾力的な変更を可能とするため、数量変動の生じやすい作業土工を分離して、単独で「施工パッケージ単価」を設定します。



『施工パッケージ型積算方式』の導入スケジュール



積算単価への補正方法(具体例)

H24.10 鹿児島 積算単価

$$= \text{H23.9東京標準単価} \times \left(K \times \frac{\text{H24.10鹿児島機械単価}}{\text{H23.9東京機械単価}} + R \times \frac{\text{H24.10鹿児島労務単価}}{\text{H23.9東京労務単価}} + Z \times \frac{\text{H24.10鹿児島材料単価}}{\text{H23.9東京材料単価}} \right)$$

を公表

K: 標準単価に占める機械費の構成割合
 R: 標準単価に占める労務費の構成割合
 Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

《 補正の実例 》

下記条件における鹿児島H24.10の掘削の積算単価を算出する。

【積算条件】
 土質：土砂
 施工方法：オープンカット
 押土：有
 施工数量：30,000m³未満

【標準単価（公表）】		【機労材構成費・規格（公表）】	
245.1円/m ³			
		公 表	
		構成費	規 格
K	0.5586	ブルドーザ	湿地 排対1次 20t
R	0.2210	特殊運転手	
Z	0.2204	軽油	1.2号

$$\begin{aligned} \text{積算単価 (鹿児島 H24.10)} &= 245.1 \times \left[0.5586 \times \frac{23,900}{23,900} + 0.2210 \times \frac{17,600}{17,300} + 0.2204 \times \frac{108.5}{109.2} \right] \\ &= \mathbf{245.7 \text{ 円/m}^3} \end{aligned}$$